

【事前準備】

①活動前に事務室に寄って、注文した焼き板セットと「利用者ファイル」を受け取る

1人分のセット内容

ヒートン2個、ひも1本



※板は1階吹抜けの棚にあるものを使う。

②活動に必要な道具（活動場所にあります。）

- ☐ ポスカ
- ☐ 新聞紙
- ☐ きり

※以下、焼き作業で使用する道具。（1F吹抜け）

- ☐ バーナー&ガス
- ☐ 軍手
- ☐ 皮手袋
- ☐ 雑巾
- ☐ タワシ

時間的に余裕があったり、板を焼く順番待ちをしている時は下絵を紙に書いても良い。（片面 or 両面）

【指導手順】

1. 職員による説明(10分)

①焼き板の作り方を職員が説明します。



2. 板を焼く、みがく(20分)

※持参した軍手を持って吹抜けに移動。

※職員がガスバーナーの使い方、安全指導について説明します。

※板を焼くときの注意事項

- (1)ガスバーナーでの火傷に十分注意してください。
また、ガス漏れによる事故を防ぐため、換気をしっかりしてください。
- (2)板を焼く作業の場所には、必ず引率者が付いて安全管理を行ってください。
- (3)衣類や髪の毛などに火が燃え移らないよう、事前の確認と指導をしてください。

②皮手袋をしてガスバーナーで板の表面と裏面、側面(4面)を焼く。しっかりと焼くと木目がきれいに出る。



※点火レバーのロックを解除する。

※点火レバーを握ると点火し、離すと消火する。



③焼いた板をたわしで木目に沿ってみがき、ススを取る。手にススが付かなくなればOK。



④雑巾で光沢が出るまで磨く。



※吹抜け使用後の注意事項

- (1)使用した軍手や皮手袋、たわしや雑巾は元のかごに戻す。
- (2)使用後のバーナーは一か所にまとめて置いておく。金属部分は大変熱くなっているので触らない。
- (3)吹抜けのシャッターは職員が閉めるのでそのままにしておく。

3. 板にヒートンを付ける(10分)

※1で作業した板を持って、研修室に戻ってくる。

⑤机に新聞紙を敷く。



⑥きりで板の側面に2か所穴をあける。



⑦⑥であけた穴にヒートン(金具)を取り付ける。



4. 絵や文字を描く(15分)

⑧ポスカを使って、板に絵や文字を描く。両面描いても良い。(下絵があれば参考にして描く。)



⑨⑦で取り付けしたヒートンにひもを結び付けて完成。



5. 片付け(5分)

1. 焼き板作成セット(ペンなど)はきれい整理し、元の場所に戻す。
2. 新聞紙は大きな汚れや破れが無ければ、たんで一つにまとめる。
3. 使用した机と床を掃除する。
4. 終了報告と共に「利用者ファイル」を事務室へ返却。